

教員ニーズの聞き取り方

教員×図書館をつなげる
処方箋

4班

まとめ

問題点

- 図書館単独でガイダンスを企画・実施しても効果が限定的

解決策

- 教員を取り込んではどうか？

教員を取り込むメリット

- 教員の権力が働いて、良い環境を作れる
＝緊張感のあるガイダンス環境(学習院)
- 学生が真剣に取り組む／聞く耳を持つ
＝学生のモチベーションが上がる
- 学生が必要とするタイミング(レポート課題・プレゼン準備段階)を逃さない
＝図書館員も低コストで準備・実施ができて、効果も高い！

課題①

教員に、

- どんな風にして
- 誰に
- ということを
- いつ

アピールすれば、協力してもらえるのか？
わからない・・・

課題②

- 教員は、

「忙しそうな図書館員にこんなことを頼んでよいのだろうか」 by 某先生

「図書館でそんなことやっているとは、知らなかった」 by 某先生(たぶん、皆さんの大学)

図書館を知らない……

つまり・・・

- 図書館と教員は、相互理解ができていない！
→ 図書館ができることをアピールし、教員に図書館をもっと上手に活用してもらおう・頼ってもらおう、
= 肯定的依存関係※を作りたい

※ by 某先生

解決策

- まずは、教員(のニーズ)を知るために

「問診票を作ろう！」

初年次教育時の連携を前提として・・・

対象：教員

時期：年度後半

実際行う際の方法
は色々！

- ・インタビュー
- ・配布
- ・メール

問診票

【流れ】

☆共通の話題で盛り上がる

→ポイントを絞る

→現状を把握

★教員の本音を引き出す

→図書館を活用してもらう

共通の話題で盛り上がる

問1、今の学生を見て、先生が感じることは？

【自由記述】

→ポイントを絞る

問2、今の一年生に、授業の成果として期待すること(目標)は？

【自由記述】

→現状を把握

問3、先生は、学生にレポートの材料を、どこで調達させていますか。該当する番号を○で囲んでください。

- 1、書店、生協
- 2、図書館資料(本・雑誌・新聞)
- 3、検索エンジン(例:yahoo、google)
- 4、DB(CiNii、医中誌など)
- 5、研究室利用
- 6、実地調査インタビュー

問4、今後、「1年生に使わせたい」と思う、レポートの材料を教えてください。

【自由記述】

★教員の本音を引き出す

問5、図書館が、講義の一コマを利用して、情報検索のガイダンス等を開催していることは、ご存じですか？

- 1、知っている
- 2、知らない

★教員の本音を引き出す

問6、先生ご自身は、図書館をどの程度、利用する機会がありますか？

- 1、 ほぼ毎日利用する
- 2、 週に[]回
- 3、 月に[]回
- 4、 年に数回
- 5、 過去に利用したことがない

★教員の本音を引き出す

問6、普段の研究・授業に、図書館は役に立っていると思いますか？

- 1、思う（問7-1へ）
- 2、思わない（問7-2へ）

問7-1 (問6で「思う」と回答した方へ)
今後の図書館に期待することを教えてください。

【自由記述】

問7-2（問6で「思わない」と回答した方へ）
理由を教えてください。

- 1、必要な資料がない
- 2、他で入手可能
- 3、図書館設備が充実していない
- 4、図書館の対応が不親切
- 5、図書館の提供サービスが不明瞭である

問8

他の大学図書館で行っている、効果的な学習支援の事例があれば、教えてください。

【自由記述】

まとめ

問題点

- 図書館単独でガイダンスを企画・実施しても効果が限定的

解決策

- 問診票を使って、教員を取り込む

おわり

- ご清聴ありがとうございました。
- 何か質問がありましたら、お願いします。

発展

先生の取り込みに成功！ → その先は？

- 初年次教育の一環として、図書館の年間スケジュールに組み込む。
「資料の探し方」、「データベース利用ガイダンス」、「レポートの書き方」等
- 興味をもっていたいただいた教員（ゼミ単位等）からまずは実施していく

各大学の学部学科構成・学生数・図書館側の受け入れ態勢